

## 幕山ハイキング (湯河原)

T2 岡本

横浜国際プールのバス停を下りると、満月！突然に、すぐに小雨、でも、今日（5.10.28）は、良かった、湯河原の幕山ハイキング

(B1 近藤さんアレンジ) 中は、

絶好の好天、湯河原駅前銅像が気になった。

土肥實平の銅像あり、石橋山の合戦に敗れた、源頼朝を助けたことで有名、悠然と立っている。



バスで、幕山公園に、そこから、幕山ハイキングコースへ、右手に見えるのが、幕山らしい。ハイキングなのに、可成りそびえたっている幕山、山道に入ると、新崎川の清流の音が聞こえる。しばらくは、清流の音を楽しめる。徐々に清流の音が聞こえなくなると、少し登りとなる。体も汗ばみ、労度を感じる。

野草が目に入る。紫のアザミは特に綺麗、桔梗も咲いている。白いウドの花が、綺麗だ。真竹のアーチで、山道からは周囲は何も見えない、山道を登るのみ。

アケビを見つけた人が居た。まだ、熟れていないようだが、それを取った。なんか生け花のアクセントに使う方が良く、と思った。

急に、小鳥の声、ホウジロらしい。一筆啓上参らせ候！と聞こえると、先輩が言っていたのを思い出す。山頂方向が開けてきた様に

感じ、休憩をとる。少し疲労感を感じている。しかし、元気、対話が弾んでいる！山頂での昼食が楽しみ！黙々と登る。626mの山頂に出た、真鶴湾が一望できる。少しガスがかかっているが、山頂

から見ると素晴らしい。それぞれ手持ちのお弁当取り出す、少し台地になっていて、ピークとしては、最適、腰を下ろして、寛げる。

Kさんが登山用コンロでお湯沸かし、日本茶、コーヒーをサービス、嬉しく、美味しくいただく。良き一日の一瞬なり、あまり素敵な山頂の台地、寝転んでみた。素晴らしい！こんな体験は、はじめてだ！コーヒーが美味しい。



今度は、下山する、ゆとり嵯峨沢の湯が楽しみ。しかし、下りは、要注意、可なり膝に負担がかかりづらい。事故は、下山時だ、気をつけなくてはならない。湯河原梅林「梅の宴」と言われる幕山の麓、ロッククライマーが岩山に挑んでいる。約 100 名のクライマーが入っていると。ロッククライマーにはたまらない場所らしい。

梅林を抜けて、幕山口に帰着、タクシーを呼び、ゆとり嵯峨沢の湯へ向かう。素晴らしい温泉、露天風呂の湯舟は、3 か所、入浴に満足感あり、体がほぐれる。レストランで、会食、海鮮料理、干物！それより、生ビールが待たれる状況の顔、顔！旨い！梅のサワーも美味しい。

4 月頃の梅林の宴の時期は、混雑、ととて、もここ迄は、これないそうだ。私たちは、ラッキーか？楽しいハイキングは、食欲、適度な達成感、疲労感を味わせてくれている。

また、やりたいハイキング！帆船日本丸を愛する男声合唱団、登山部のハイキング！参加者：伊藤、岡本、近藤、鶴野、山路の 5 名でした。(岡本記)

## 23 年 10 月麻雀部活動報告 (第 8 回) B1 古川幸一

今月の例会を次の通り開催致しました。

日時：10 月 25 日 (水) 14:00～17:30

メンバー：丸山 (一)、新木、二村 敬称略、古川 スコア (半荘 3 回)

|     | 丸山<br>(一) | 新木  | 古川 | 二村 |
|-----|-----------|-----|----|----|
| 一回目 | -14       | -14 | 31 | -3 |
| 二回目 | -1        | -19 | 1  | 19 |
| 三回目 | -13       | -35 | 57 | -9 |
| 計   | -28       | -68 | 89 | 7  |

新加入の古川が報告いたします。

このところ、部の皆さんのスケジュールが合わず、10 月度の開催も危ぶまれていましたが、平日の予定が合った 4 名で卓をかこむことになりました。

表にありますように、古川が合計トップを取らせていただきました。一回目の最初から古川が 3 連続の満貫で先制パンチ、その後もコ



ンスタントに上がりをいただきました。二回目は二村さんが巧みな牌回しと場のコントロールでトップを奪取しました。そして三回目になりますと皆さんの挽回を目指した強気の攻めによる役満、跳満のテンパイを古川は幸運にもかわすことが出来、何とかトップをいただきました。特にオーラスで新木さんから三暗刻々ドラ 3 (ツモリ四暗刻) の手でリーチがかかり (写真)、すぐに古川が追っかけリーチ、その勝負に古川が勝って、勝利が確定しました。この日の古川は配牌、ツモともに絶好調で、運に恵まれました。

初めてお手合わせいただいた諸先輩方の視線に緊張し、全自動卓から上がってくる牌の景色に戸惑いながらも、楽しい時間を過ごすことが出来ました。(古川記)